

【参考－ 6】

栗東健康運動公園整備懇談会における
市民意見の概要

NO	意見	回答
1	マーケットゾーンの建物は、市が建てて複数のテナントを誘致することは可能か。 （1社では撤退による影響が大きい）	マーケットゾーンの建物は、民間活力の導入を検討していることから、市が建てることは想定していませんが、事業者が建物を建設し、テナントを募集する形をとることは可能かと考えます。
2	小学生以上でもサッカーボールを蹴れる柵に囲まれたエリアがあると良い。	参考意見として預かります。
3	馬場に関しては「公設民営」とのことだが、資金はJRAとのこと。JRAも「公」ということ？	市が整備を行う想定のため「公」と表現しています。JRAからは整備にかかる資金支援をいただきます。
4	生活道路での交通量の増加、工事車両の騒音・振動などへの不安。	工事車両のルートについては、施工前に事業者と調整いたします。
5	生活道路上でのゴミのポイ捨てが増えそうで不安。	公園内でのゴミに対するルールづくりや啓発等について検討していきます。
6	夜間のたむろが不安。	夜間の公園や駐車場の在り方について、今後検討していきます。
7	バスの増便を期待している。	バスに関しては、現在、関係課に相談をしておりますが、一層の利便化について引き続き協議をしてまいります。
8	早期整備を希望。	引き続き早期開園を目指して尽力いたします。
9	ホースパーク事業の収支、事業の出来るスペース（面積不足）、駐車場の位置、経堂池の活用等が不明確である。	事業費については、基本計画時点において24億円との試算をしておりますが、収入も含めて随時見直しが必要と考えています。スペースについては、公開サウンディングも含めて引き続き事業者への聞き取りを行っていきます。経堂池については、農業用のため池として位置付けられているため、現時点では利活用を見込んでおりませんが、引き続き所有者と協議をさせていただきます。
10	民間活用導入を考えると、現状の計画ではホースパークの面積割合が占めているため、最大限活かせるか不安である。	公開サウンディングも含めて引き続き事業者への聞き取りを行っていきます。
11	計画地対面にあるスペースは現状緑地となっているが、駐車場として活用（安全考慮必要）若しくは民間活用スペースとしてはどうか。	計画地対面にあるスペースについては、現在緑地帯としておりますが、参考意見として預かります。
12	周辺地を考えると火葬場計画、工場倉庫計画と市街化調整区域でありながら、地区計画等にて開発されている地域である。公園用地もその地域に含まれることから残地としてある（旧迷路跡地）も開発対象として民間活用を一緒に行うべきである。	ご意見については参考とさせていただき、民間活用という観点でも公開サウンディングも含めて聞き取りを行っていきます。
13	旧迷路跡地を駐車場として活用してはどうか。	

NO	意見	回答
1	懇談会の開催時期は承知したが、並行して公園周辺の自治会や学区連合会などには個別に意見は聞く場を設けてほしい。	ご依頼があれば、自治連合会や近隣自治会には説明していきたい。
2	基本計画時は、広場等の公園より、馬の活動エリアの方が大きかった。もともと昭和63年には憩いの場である休養公園という計画であり、馬の計画はなく市民のための公園であった。この懇談会での話を活かして、住民のための公園づくりにして欲しい。	懇談会の意見を参考に進めたい。なお、公園整備の条件は、公開サウンディングや事業者公募で決まることから、懇談会の意見のすべてが実現できるとは限らない点はご理解いただきたい。
3	資料7に図示されている子どもの水遊び場はどのくらいの規模か。	水遊び場はイメージとして記載しており具体的な規模は決まっていない。大きさなどは相談していきたいと考えている。
4	遊具も置いたら、子どもが走り回れる場所が狭くなりそう。芝生広場全体の規模は。	基本計画時点では5,000㎡程度だったが、基本設計では10,000㎡程度と倍増している。市内小学校のグラウンドの平均程度の規模である。
5	公開サウンディングがどのようなもので、どのように取り組みを進めていくのか方向を示して欲しい。	資料3のとおり、民間事業者公募でのパートナーを選ぶための条件を検討するために公開サウンディングを実施して、民間事業者との対話の場とする。民間事業者の意見と、懇談会の皆さんの意見を参考にして、市がどういう条件設定をするかを決めていきたい。
6	JRAからの支援とは、JRAの社会貢献活動の一環ということか。JRAから懇談会への参加はないのか。	引退競走馬のセカンドライフで、活動できる場があれば協力するということで、社会貢献活動として資金協力をいただく。JRAは、市と公園に馬関連施設を整備するための協議をしている。
7	民間事業者が公園を運営した場合、市民が気軽に使える公園になるのか。にぎわい施設での収益確保を目指す、広場などが小さくなるなどの影響が懸念される。市の方針を確認したい。	そうした課題があると承知している。市としては福祉・環境・商業観光・教育・防災などのテーマがあり、一方で収益を上げながら公益的なテーマを実現する必要がある、その条件で運営していただけの企業に来ていただきたいと考えている。収益事業が小さくなると民間企業には参入していただけなくなるため、最適なバランスを見出していかなければならないと考えている。
8	民間の費用負担についてどう考えているか。	現時点では、例えばにぎわい施設はP-PFIという手法で、建物建設と運営を民間事業者に行ってもらい、公園施設の整備に関しても民間事業者の一部負担してもらうことを考えている。また、建物部分の使用料を市に納めてもらい維持管理に充てる予定。 馬関連施設は、民間事業者が建物建設まで負担するのは厳しいことが先に確認できたため、公設民営として、市の負担で建物を建て、それを民間事業者に貸して市が使用料を得ることを考えている。
9	調整池の左にある赤点線の外側の隣地（旧迷路跡地）は市街化調整区域か。	市街化調整区域である。
10	隣接する民有地も一体的に開発できると、より素晴らしい公園ができるのではないかと。子どもの遊び場を十分確保できるようになるのではないかと。また、にぎわい施設で高い収益性が期待できないのであれば、逆に公開サウンディングでその理由と対策を企業側から聞き取り、どのようにしていけば良いかを考えていけばいいのではないかと。隣接する民有地は市街化調整区域であるが、色々な手法で開発ができるのではないかとと思われる。開発する面積が増えることになるが、財政面での緩和策を検討しているのであれば工夫していくのではないかと。	現時点は、隣接する民有地は公園整備区域には含まれていないが、周辺自治会への説明会でも、隣接地も活用してほしいという要望があった。民間事業者のニーズ等は事前ヒアリングを継続していき、事業費も含めて総合的に検討していく必要があることは認識している。
11	確認だが、市街化調整区域の民有地を市街化区域に編入する検討をするということではない、ということか。公園の区域に入れることを検討するという理解で良いか。	ご理解のとおりであり、公園の整備区域に入れることを総合的に検討する必要があるという意味で、市街化区域編入の検討の話ではない。

第Ⅰ回栗東健康運動公園整備懇談会（令和５年10月31日開催） 意見回答一覧②

4

12	これほどの大きなプロジェクトを進めるには、市だけでなく信頼のおけるプレーンが必要。身内だけでできるものではない。	UR都市機構をコンサルタントとして協定を締結し、この事業を一緒に進めている。 また、市でも令和５年４月からこの事業の推進に特化した課である健康運動公園整備事業推進課を設置し、推進体制を強化している。
13	公園が広いほど管理が大変で管理費もかかるため、広ければ広いほどいいという話ではないと思うが、現在どのくらいの利用人数を見込んでいて、駐車場の規模はどれくらいなのか。	9.4haの公園で、同時滞在する利用者は600人程度を想定している。駐車場は200台としている。公園の面積と利用者数からは160台が必要だが、にぎわい施設の規模がアグリ郷栗東と同程度であり、50台弱の駐車場があるため、合わせて200台と設定している。なお、規模に関しては、民間事業者など意見を聞きながら変更になる可能性がある。
14	民間事業者が運営するという説明だったが、例えば芝生広場で地元のお祭りやイベントをしたい場合に、その事業者が決めるような権限を持つことになるのか。	市としても様々なイベントなどで使いたいと考えているが、市民の方がイベントをしたい場合にはお貸しすることを事業者募集の際には条件にしたい。にぎわい施設や馬関連施設の事業者しか使えないことにせず、毎週のようにイベントがあるようになにぎわう公園であり続けるようにしていきたい。
15	イベントをするなら、駐車場が200台では到底足りない。ＲＤの土地を活用して駐車場にしようかという意見もあるが、絶対にできないものなのか。	令和12年の開園を予定しており、ＲＤの土地が使えるまで時間がかかるということも聞いているが、タイミングが合えば検討したいと考えている。
16	公園をPRして県外や近場から多くの利用者を呼び込むのであれば、渋滞して周辺住民が困る。小野ランプから県道に入り、公園へ進入するには右折が必要で渋滞となるため進入口は検討して欲しい。	渋滞については、現在小野ランプがバイパスの終点で交通量が多くなっているが、令和7年には草津方面まで本線がつながるため、一定の渋滞緩和を期待しているところ。県道から公園への進入口は、北側からは左折なので問題ないと考えているが、国道1号バイパスの側道からも左折専用の出入り口を設けたいと考えている。県道からの右折入場も禁止になる可能性もあり、バイパスの側道からの入場も交差点からも近いので、今後公安協議が必要だが、懇談会からの意見として検討していきたい。
17	小さい子どもを持つ親としては、栗東市には子どもを遊ばせる公園が全くないので、いい公園ができることは大変うれしい。民間事業者に運営してもらうなどを強調して説明があったが、そもそも栗東市の税金を公園に使うことがそれほどいけないことなのか。	市の財政上の課題があり、市の費用を抑えた事業になるよう心掛けており、JRAからの協力や国費を活用しながら整備したいと考えている。
18	参考資料のＱ＆Ａはいつ作成したものか。	今年の7月から8月にかけて周辺自治会から尋ねられて回答した内容を、懇談会でも確認いただけるように用意した。
19	周辺自治会でもこの公園の状況を聞いたのは、火葬場建設の説明会の中で質問した1年ほど前で、その際も市からは公園の計画はＨＰに掲載しているという説明だけだった。今年度ようやく説明会があったが、地元の説明をしてこの計画ができていないわけではなかったがその経緯は。	市は令和3年に基本計画を策定してＨＰに掲載していたが、今年7月に周辺自治会に説明をして、民間事業者へのヒアリングも進めたうえで、今回は基本設計の段階で皆さんの意見を反映させるため、本日の懇談会を開催した次第。
20	今日の平面図は今後変更していく可能性があると考えてよいのか。例えば、緑地帯が広いので小さくできないか、にぎわい施設が小さすぎるので大きくなる可能性があるのではないかと、テラスを野外ステージのようにして芝生広場側を観客席のようにするなど、いろんな意見を聞きながら計画を変えていくこともあり得るというように考えてよいのか。	本日の平面図の計画は、今後、民間事業者との協議や皆さんとの協議で変わっていくたたき台というご認識の通り。
意見	・駐車場の利用時間を24時間と予定しているか。近隣住民としては、騒音やキャンピングカー利用などができる24時間の開放は避けて欲しい。 ・市民はみな税金を払っており、市内にいくつも公園があるわけではなく一つの公園をつくるのにどうして費用が出せないのか。できないなら、お金の見直しをしたら良い。市民は草津市や守山市まで行って苦労している。 ・民間事業者に任せて、いい条件の方を探すと言っているが、受けてくれる企業がいるのかも疑問。公園で収益が上がらなくなった場合にはどうなるのか不安。 ・せっかくの公園を作るのなら市がしっかりとお金をかけてやってほしい。 ・長期的な視点で考えるのであれば、隣接の民有地は公園に入れるべきだと思う。 ・ＲＤの話が出たが、公園の谷筋の地下水からは汚染物質が検出されており、最近、ようやく環境基準を下回るようになった。多くの利用者や馬がいる公園になるなら地下水活用をするなどは慎重に考えて進めてほしい。	

NO	意見	回答
1	そもそも公園整備の目的、整備の効果はどのように考えているか教えてほしい。	市民の方が多様な交流や日常的に憩いを楽しめる場として利用いただける公園整備を第一に考えています。その中で、引退競走馬を活用することにより、栗東にしかできないランドマーク的な公園整備を行い、交流人口増加も目指しております。
2	今回の公園は近隣住民の方の為なのか、県内他市または県外からの集客を目的としているのか。	市民、ファミリー層に利用してもらえる公園であることが大前提ですが、県内外からの交流人口の増加に寄与できる公園という視点をもって計画を進めたいと考えています。
3	ターゲットとしている年齢層はどの世代になるか。 懇談会ではどの層に焦点を当てているかわからなかった。	
4	幅広い年齢層が利用できる設備を整えることが必要ではないか。	
5	どんなことに活用できる運動公園を考えているのか。	
6	一年を通して集客できる事業はどんな事業があるのか。	にぎわい施設及び公園全体の管理運営を担う民間事業者との連携の中で検討していく内容になりますので現時点においては可能な限り多くの可能性を想定できる配置計画を検討しています。今後、事業者との協議においても住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
7	従来他の場所で開催していた事業で当公園に移すことが可能な事業はどれだけあるのか。	
8	県等の事業も当公園で開催できるようにしてほしい。	
	限られた敷地内で全ては出来ないことは承知しているが、自転車の練習できるスペースやBBQエリア、グランドゴルフ場、スケボーパーク、バスケのハーフコート、ボール蹴りで壁当て出来る場所等の設置を期待している。参考にしてほしい。	
	栗東市は本当に遊具のある公園がない。芝生広場なら日産リーフの森があるので遊具の設置についてはそれなりのボリュームを期待したい。	
9	費用対効果の予測はどうか。	費用については、各種補助制度等を活用し、市費の支出は限りなく抑えていく方針です。効果については現時点で想定されるシナリオでのシミュレーションを行っておりますが、参入する事業者の影響を大きく受けますのでサウンディング調査の個別対話での事業者から聴き取り結果も踏まえ検討を進めてまいります。
10	どのような業者を指定管理者とするのかを視野に入れつつ、計画を進めることも考えてほしい。	にぎわい施設及び公園全体の管理運営を担う民間事業者の影響を大きく受けますので、サウンディング調査に参加した事業者の意見を踏まえて検討してまいります。
11	厩舎から馬独特の臭いが発生し夏場を中心に周辺の住宅から苦情が出るのではないか。	臭気については他でも意見をいただいております課題と認識しているところです。令和6年度には調査・研究の一環として、懇談会において既存の厩舎施設の視察を検討しています。
12	地元の意見を聴取することは賛成であるが地元の方も栗東市の将来を見据えた大きな視点で視野で検討を進めていただきたい。他学区から意見しづらい。	市内では一番大きな都市公園の整備となり、広く住民の方々との対話の中で事業を進めていきたいと考えております。
13	懇談会の前に周辺自治会と十分に意見交換をしていただきたい。 まるで地権者との話し合いの場になっており、学区連合会の出る幕がない。	

NO	意見	回答
1	・計画図では、馬施設の内容が更新されている。どのような事業者に意見を聞き、関心を持っているのか知りたい。また、JRAもヒアリングの対象でアドバイスをもらっているのか。	・ヒアリングした対象は、主に都市公園内で馬事業を実施している事業者、県内で乗馬クラブを運営している事業者、そのほか馬関連事業者などで、複数の企業が関心を持っている。なお、JRAは公園事業に資金支援してもらう立場で、公園内の馬事業自体の運営はしないためヒアリング対象ではないが、アドバイスも含めて相談している。
2	・近くに「自然観察の森」があるため、この公園の自然環境保全体験ゾーンはそれと異なる利用にした方がいいのではないのか。	・計画地内の森林は残置森林として残す必要があり今の計画にしているが、「自然観察の森」とのすみ分けなどは意見もいただいて検討していきたい。
3	・残す必要がある残置森林について、計画しているこの面積が必要なのか、もしくはこの配置で残す必要があるのか。この計画よりも減らすことはできないか。	・林地開発の基準により、森林をその場所に40%の面積を残す必要があり、それに加えて整備に伴う植樹などで10%の緑地を確保する必要がある。今の時点で、これらを満たす面積と配置をとっており大きくは減らせない。
4	・北側の自由広場ではボール遊びができ、芝生広場と差別化すると聞いていたが、どのような想定となっているか。例えば子ども2人を連れてきた場合に、一人がドッグラン、もう一人が自由広場に行きたいとなった場合、安全上、目が届くようにと思うと離れていない方がいいのではないのか。 ・調整池沿いの園路を車が通れないなら、自由広場を使った後に芝生広場に行きたい場合、一旦、車で公園の外を回る必要があり不便になる。また、調整池から芝生広場に車は入って来れるのか。 ・芝生広場には遊具や健康器具も設置されると思われ、広いスペースにするためにも利用上の安全確保からも、北側の自由広場の位置に駐車場を増やす方がよいのではないのか。	・公園管理棟の配置を見直したことに伴い、できるだけ遊び場所を確保するよう自由広場を計画した。芝生広場との違いは、それぞれを利用年齢階層で分けるなど、今後検討していきたい。 ・防犯対策については、今後詳細設計の中で検討したい。できるだけ親御さんをお願いしたいが、防犯カメラがいるとかいらないとか検討したい。 ・資料3のうち、グレー色の園路は車両が通行する想定としている。芝生広場の付近の園路には一般車両は入らないように考えている。園内を歩いていただくものと考えているが、安全対策については皆さんの意見もいただき考えていきたい。 ・なお、既存の森林は計画しているエリアに残す必要もあり、北側に遊べる場所があるようにと考えて自由広場を計画したが、違う利用方法などご意見があれば検討していきたい。
5	・厩舎や馬場の近くに駐車場があるが、馬は音に敏感だが問題ないか。	・馬事業者にも確認しており、ある程度の車両出入りについては問題ないと考えている。
6	・今日初めて見直しの計画を見ることになり、資料は事前に提示してもらいたい。既に議会には内容を報告しているようだが、先に懇談会に説明してほしい。	・ご意見として承る。
7	・この公園では、民間事業者が収益をあげながら運営する方向と理解している。にぎわい施設だけでなく、様々なイベントや催しでも収益が出るようにと大屋根や芝生広場も活用されるものと考えられる。そうしたイベントの際に、一般の方の利用が制限を受けるかどうか、基本的な考え方が知りたい。	・基本的には、芝生広場はいつでも利用できる場所と考えている。イベントの際にどの範囲の利用が制限されるか、その事前周知の方法についても今後調整していくものと考えており、現時点では具体的なイベントについて検討はしていない。
8	・公園管理棟と事業者の施設を近づけた方が効率的なのはそのとおり。この施設は誰が管理する想定をしているか。	・公園管理棟も含めて、民間事業者に指定管理などにより管理してもらう想定をしている。
9	・公園内になる経堂池（ため池）は小野自治会が所有しているものの、長年農業用水としては使っていない。一方、西側の三ツ池も小野自治会所有だがこちらは農業用水として利用しているため公園整備範囲から除くように、市にはお願いしている経緯がある。 ・経堂池が公園になる際、市が管理する想定をしているか。例えば事故が起こった場合の管理責任は誰が負うことになるか考え方を聞きたい。自治会でも所有者として経堂池が必要ななど議論はあるだろうが、この懇談会では広場面積が増えた方がいいという意見もあり、市から自治会に、例えば経堂池を埋め立て活用するなど具体的に検討して、提案した方がいいのではないのか。	・経堂池の利活用については、小野自治会役員会に確認し、非常時には三ツ池のバックアップとして経堂池をため池として残したいとの意向を確認している。 ・自治会の総意として池の活用を検討してほしいとなれば、市でも検討はできる。

10	・しばらく役員もしているが、非常用としての説明は聞いた記憶がない。使えるとは思えない。だれが言ったかはわからないが、共通認識ではないと思う。そういった意見を聞いてもらう場もなかったので、あると良いのでは。小野自治会のものであれば、小野が何してもよいということになるが、公園の区域の中にある以上は何か良い提案を示して欲しい。これだけの面積があるので、何か。資料3も苦労したのもわかるが、自治会にも再度相談するなど検討して欲しい。	
11	・経堂池の利活用するように市事務局にも話したが、自治会にあらためて確認していないのか。地元の声を聞きながら検討するという方針と違うのではないのか。	・経堂池については、7月に小野自治会役員会に意向を確認し、公園計画に反映していたが、自治会の意向が変わっているか等はあらためて詳細に確認したい。
12	・説明あったときに、そんな詳しい話しはしていない。所有権はあるけども、残しますと言われただけで、活用してくれるのという相談がない。そこらへんははっきりしとしないと。急に話しをされても、内部で検討する時間がないとはっきり言えない。懇談会の結果も踏まえて、その後自治会に聞いて欲しい。いい公園にしたいので、できるだけ協力はしたいとも考えている。こういう場でしか言えない。こういうことがやりたいということがあるのかないのか。これまで苦労して財産管理してきた経緯もある。もう少し丁寧な説明や方向性を示すとか協議して欲しい。	
13	・周辺自治会からの意見を聞く機会が少ない。意見が取り入れられていない部分があるため不信感があり、地元として納得できない。	・今年度の6月から8月にかけて周辺自治会に計画を説明しはじめ、その際も情報提供が遅いのご指摘をいただいている。この公園は都市計画公園として整備していくものであり、地元や懇談会で意見をしっかりと聞きながらより良い公園をつくりたい。
14	・国際情報高校、新設される火葬場、戸田建設の整備範囲にもそれぞれ調整池が設けられ、この公園にも調整池ができることとのだが、これら全体をうまくまとめる調整ができないか。	・調整池は、開発する範囲から雨水が一度に外に流出しないように設置するもので、その範囲ごとに必要に応じて設置していくことになる。
15	・調整池に普段は水がたまっていないなら利活用できないか。	・50cm以下の広場で調整池を兼用する方法をとっている事例もあるが、この調整池は、普段は水がたまっていないが、深さが3～4mはあり大雨の際の安全対策の観点から利活用は難しいと考えている。
16	・自由広場付近を、迷路跡地と等価交換するなどして利用しやすい敷地形状にできないか。	・計画している範囲は都市計画決定した区域となっている。ご意見として承る。 ・見直した計画案では、自由広場ではボール遊びができ、にぎわい施設の近くの自然遊び場などを子供向けの場所として利用して施設や大屋根から大人が見守るという想定をしているが、他で利用された経験などから年齢層を分けて利用しているかなどお聞きしたい。
17	・自由広場には、例えば大人向けのテニスコートを設置するなど、芝生広場とは明確に機能分担した方がいいのではないか。	・1,400㎡程度の想定でテニスコートは入る規模。市役所前の公園のフェンスで区切られたグラウンド部分より少し狭いくらいの広さのイメージである。（※テニスコート必要面積約600㎡程度）
18	・栗東市内にはテニスコートが不足しており、機能分担する計画がいいと思う。	
19	・テニスコートを入れるには狭いようだが自由広場はどの程度の面積か。	
20	・どのような大きさの遊具が置くといいか考えるためには、他の公園の事例写真などをみて検討したい。	事例を説明
21	・大屋根は、日比谷音楽堂のような野外ステージで、国際情報高校の吹奏楽の演奏や有料イベントを開催できるようにし、稼ぐことができるような施設にするというのではないのか。	・大屋根は、夏季でも子どもが日陰の下で遊んだり、利用者がくつろげるような施設を想定している。
22	・「竜王町総合運動公園」にあるドラゴンハットも参考になるのではないのか。	
23	・防災面での活用も地元としては重要だ。今も北側に避難場所の看板が設置されている。	・防災面として、基本計画では災害時の一時避難場所として活用するとともに、経堂池の水をヘリコプターで山火事対策に使うことなどを想定してきている。地域防災計画で定めることになるが、公園の防災機能については今後検討する。 ・現在は一部供用している北側の広場が活用されていると認識している。

24	・馬がいる公園になることは理解しているが、飲食する場所まで馬の臭いが届かないよう、馬施設と広場の間には樹木を植えるなどの工夫をしたほうがいい。	・厩舎を森林側にして広場から離れた計画としているが、今後、必要な対策や工夫については、馬関連施設をみなさんで見学するなどして考えていただきたい。 ・汚水排水については、開発の基準もあり徹底して対策を講じたい。
25	・馬場よりも厩舎の方が臭いがでるため、位置を変えた方がいいのではないか。馬場が芝生広場側にあれば動いている馬を眺めやすくなるというメリットもある。	
26	・昔、住宅の近くに馬運車置き場あったときは臭いがあり気になった。汚水処理をきちんと計画する必要がある。	
意見	・小さい子どもが遊ぶ場所とボール遊びができる場所は、ゾーンが分かれていても近くにありどちらも大人が見渡せる公園が多い。地球市民の森もじゅうくの里もそう。経堂池を広場として活用できるなら解決できる。 ・柵に囲まれて安心してボール遊びのできる場所が欲しいという意見を出したので、自由広場を計画してもらいたい。両方が届いたほうがありがたい。小学生は自由広場、子ども連れは芝生広場等想定されているかもしれないが。 ・子ども以外に大人や若者など様々な年齢層が使う場合は、安全対策として区域ごとに仕切りなどが必要だろう。 ・遊具は、大屋根の右側に設置した方が広々として良いと思う、 ・「地球市民の森」にも健康器具があるが、散歩通路沿いにあるイメージだ。 ・ふわふわドームを是非設置してほしい。 ・子どもが自転車を練習できるエリアがあるといい。専用のエリアでなくても車が入って来ず、自転車で一周回れるような場所であるといい。 ・「込田公園（草津市）」には大きな複合遊具と小さい複合遊具がある。3歳くらいまでの小さい子どもを安心して遊ばせられる小さい遊具があると親としては安心だ。 ・中央の芝生広場に勾配があるなら、高低差を利用して長いローラー滑り台があるといい。 ・小野にはもともと竹林が多く、タケノコ掘り体験や竹炭づくりができる場所として林は活用できるのではないか。	

NO	意見	回答
1	地球市民の森の大型遊具を対象年齢別で2つか3つあると、遠足やイベント等で大人数の子供が訪れても対応できると思う。	にぎわい施設及び公園全体の管理運営を担う民間事業者との連携の中で検討していく内容になりますので現時点においては可能な限り多くの可能性を想定できる配置計画を検討しています。今後、事業者との協議においてもそれぞれのご意見の実現性を検討しながら住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
2	ローラー滑り台は人気で渋滞が起こるので複合遊具とは別にすることも考えて欲しい。	
3	遊具の近くに大屋根、にぎわい施設、イスやテーブルが配置されることを希望し、にぎわい施設でテイクアウトしたものを芝生や大屋根の下で食べることが出来ると継続的に流行るのではないかと思います。	
4	テーブルやイスはデザイン性よりも数がある方がいい。（公園内に点在しているとよい）	
5	大屋根は1クラス全員が余裕で入れる大きさが必要と思っているので、文化ゾーンの大屋根よりも大きく、大屋根の下で食事することを考えてメンテナンスしやすいものを希望する。	
6	ロクハ公園の健康器具は年齢問わず楽しめると思うので、導入すべき。	
7	健康遊具は子どもが遊んで危険なものもあるので子供の遊具と離して設置すべき。	
8	トイレはオムツ替えや障害者や高齢者の方の介助ができる広いトイレ個室を数部屋と、普通のトイレ（ベビーホールド付き）が最低3部屋は必要だと思う。	
9	食事をするであろうスペースと馬関連施設の近くには手洗い場が必要で、幼稚園にあるような何人も横並びで手が洗えるものがあるといい。	
10	丹波自然公園の水遊び場のように普段は水がたまらない形状の水遊び場を希望し、水に関する事故を防いで欲しい。	
11	屋内キッズスペースの設置。	
12	自転車で行ける舗装路（自転車乗り入れ可能箇所）の設置。	
13	キャンプ場の設置。	
14	にぎわい施設の建物を複層にし、物販、プール・温泉、ゲームセンター、食堂・宿泊施設、ビアガーデン等、家族連れが長時間滞在出来るようにしてはどうか。	
15	バスケットやフットサルのコート（スペース）を設置。	
16	栗東市の野菜・果実（無花果など）を販売する「公園の駅」の設置。	
17	栗東市発祥のスローイングピンゴのコートの設置・大会の開催を行う。	
18	障害者でも楽しめる競技（ボッチャなど）のコート（スペース）の設置・大会の開催を行う。	
19	芝生広場面積確保のために経堂池を全部、もしくは半分以上埋めて、同時に事故のリスクやメンテナンスコスト低減を図ってほしい。	経堂池については、小野自治会の意向を確認しつつ、市として今年度を目途に方針を示したいと思います。
20	十分な駐車場の確保と経堂池の利用も含めての構想が必要かと思いました。	
21	経堂池については可能であれば埋め立てて欲しい。	股部緑地（大阪府）、JRA馬事公苑（東京都）、海の中道海浜公園（福岡県）などが馬施設と公園が並立しております。
22	今回の視察はすべて馬施設と公園が個々の所でしたが、馬施設と公園が並立している所の情報はないのでしょうか。あれば教えていただきたいです。	
23	栗東健康運動公園の場合、募集される事業主は馬施設と商業施設別々、あるいは全体で1社となるのでしょうか。	公募時の募集形態については、今年度実施するサウンディング調査をもとに検討していきます。
24	馬施設に関しては、施設の方の説明で地元住民の利用が3割程度と言っていたので栗東市民をベースにかながえていたのでは事業の継続が難しいのではないかと思います。	市民、ファミリー層に利用してもらえる公園であることが大前提ですが、県内外からの交流人口の増加に寄与できる公園という視点をもって計画を進めたいと考えています。
25	基本構想である馬との触れ合いの場を広く県外にもアピールしていく。	
意見	・馬事業に関してそれぞれ大小にかかわらずコンセプトをもって運営されていることが分かり参考になりました。サウンディングに参加される業者が提案されるコンセプトの評価が重要であると感じました。 ・昨今の異常気象や実例から突然の落雷が懸念されます。すぐに避難できる場所（例えばシェルターのようなものも含め）を確保するもの重要かと思っています。 ・幼少から大人に至るまで各層の人々が利用できる何らかの施設であってほしいと思います。また、その方向の目標は「健康」をキーワードにした取り組みをお願いします。そのことを踏まえた上で「栗東らしさ」を打ち出した施設を目指して下さい。 ・一過性の利用ではなく、ずっと県内、県外、市内外から絶え間なく訪れて頂ける施設にしてほしいと切望します。 ・芝生広場は、先行して早く出来たらいいなと思います。 ・公園の施設等は子育て世代の意見を参考にしてください。 ・青々として芝生がとても気持ち良かった。平坦な広場より、やや傾斜の付いた広場を希望します。 ・大人（シルバー）のストレッチコーナーが気に入りました。 ・概念について衛生環境がとても素晴らしく、感銘しました。栗東健康運動公園もこれ以上の運営管理が行われることを期待します。 ・平日と休日では違いがあると思いますが、住宅地に近いところと離れたところでは集客力の差があるという感じがありました。アクセスの問題もありますが、如何に来やすくするかが一番大きな課題であると思います。 ・イベント時の臨時駐車場について近隣の休みの工場のものを借りる、シャトルバスを用意する等についても検討しておいて欲しい。 ・駐車場も少しは代金をもらい、施設の維持管理費に充てるべき。駐車場運営で地元雇用を創出し、余剰利益が出るようなら自治会等の補助金として利用する。 ・専門家の方々の知識、技術等を活用され慎重に推進、構築される事を望みます。	

NO	意見	回答
(芝生広場)		
1	大屋根エリアは少々狭く感じられるが、栗東健康運動公園で想定している大屋根エリアの広さは？	260㎡程度を想定している。
2	カフェだけ(1社独占)で運営するのは難しいのではないかと。複数のフードトラックを集めた方が、手軽に購入できる上、人も集まりやすいのでは	にぎわい施設の具体的な業態については公募で決まることになる。また指定管理者の自主事業として休日にはフードトラック、キッチンカーを呼んでのイベントということは考えられる。
3	大屋根について、高低差を設けて、ステージにする等の工夫が必要。	大屋根は、夏季でも子どもが日陰の下で遊んだり、利用者がくつろげるような施設を想定している。
4	水をためるタイプの水遊び場は、子どもにとっては水が深く場合があり、危険である。スプリンクラーで水が出るタイプの水遊び場であれば、安全である。	にぎわい施設及び公園全体の管理運営を担う民間事業者との連携の中で検討していく内容になりますので現時点においては可能な限り多くの可能性を想定できる計画を検討しています。今後、事業者との協議においても住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
5	ターザンロープは子供が喜ぶ遊具だが、事故が起きやすいため注意が必要。	
6	野外ステージなどがあれば、地元高校による演奏会などを開催したい。	
7	ベンチなどは公園の端に配置するのではなく、広場内に寄せるべき。	
8	ベンチ、テーブル等はデザインにお金をかけるのではなく、清掃のしやすさと十分な数を用意することが重要。	
9	ベンチやテーブル、キッチンカーをまばらに配置し、大屋根もはらっぱの中心部分に近づけるべき(日陰でくつろぎながら子供を遊ばせたい)。	
(馬施設関連)		
1	どのような粉じん対策をしているか？竜巻注意報もよくあるので、心配である。	散水にて対応をしている。巻き上がる砂埃は砂の質によってもピンキリである。(事業者)
2	馬房の温度を一定に保つなど、対応が必要か？	エアコン等を配置するなど、施設により対応は様々。(事業者)
3	公園の周辺には高校もあり、吹奏楽部も活動している。広場の子供たちの声も含め、馬施設の周辺の音は馬に影響を与えないか。	普通の会話は全く問題ない。馬施設の真横で楽器を鳴らすなどすれば、影響はあると思うが、自動車の音などの生活音は影響ない。近くのグラウンドで、スポーツの試合や太鼓の練習など行われているが、影響は感じない。(事業者)
4	馬は人をよく噛んだりするの？	触り方などもあるが、気性は馬それぞれ。噛む子は噛む。(事業者)
5	馬はどんな餌を好むのか。	バナナやリンゴなども好んで食べる。(事業者)
6	馬は毎日体を洗うのか。	毎日洗う。冬は足のみとか。(事業者)
意見	・丹波自然公園がとても良い事例である。 ・気持ちよく使える美しいトイレが少ない。 ・年に数回、公園内でイベントを開催して欲しいが、その場合は1haでは狭いのでは。 ・遊具の規模感について、何人の子どもが一斉に遊べるような広場にするのか、想定を立てたうえで、遊具の設置数や規模感を考えるべき。 ・栗東市は子育て世代にもっと優しいまちづくりをするべき。この公園で実現することで、お金が回り、税収が入るのではないかと。 ・栗東健康運動公園は、「ホースパーク」を前面に押し出すのではなく、子育て世代がしっかり使える公園として計画して欲しい。 ・公的な施設として「障がい者向け施設」を取り入れたいところだが、採算性が取れないことも理解できる。収益施設はカフェのみでは難しいだろう。2店舗以上つくるべき。 ・遊具のあるゾーンと芝生のみゾーンは明確な境界を作る必要はないが緩やかに分けるべき。 ・池へのゴミの投げ入れや、子供の転落が心配である。池は基本的には危険であるため、小さいほうが良い。 ・鯉への餌やりなどができると面白いと思われる。 ・栗東健康運動公園は市民のための公園であることは大前提であるが、民間事業者の参入を考えると、市外からも来園者が来るようにしないと運営が厳しいのではないかと。	

第4回栗東健康運動公園整備懇談会（令和6年11月28日開催）

11

意見シート集約及び意見回答一覧①

NO	意見	回答
(芝生広場)		
1	配置図を見ると芝生広場と遊び場が離れていて、今回管理棟が芝生広場に移動している。管理棟から遊び場までが遠いのではないかと。	防災上の位置づけを踏まえ、管理棟に備蓄庫を置き、緊急時のヘリポートの設置を検討しています。遊び場の配置等については自治会から小学校が相談の上、決めていきたいと考えています。
2	北側の遊び場は高校の通学路となっており、たまり場的にならないか心配。またこれから物流や火葬場などもくる中で、安全確保の面で懸念。遊び場は池を埋めて芝生広場の方にあればよい。また、遊び場が二つあると、親が一人で二人の子供を連れて行った場合など、目が届かなくて困る。1カ所の広いところで遊ばせたい。	ボール遊びなどの遊び方、子どもの年齢層などで、区分けすることは乳幼児の安全面等、良い面もあると考えています。進入路や駐車場については、安全対策について継続して検討します。
(栗東マーケットゾーン)		
3	マーケットゾーンの芝生や駐車場も民間に作らせ、事業者が運営権を持つと自治会がイベントで活用しようとしてもそれは困るということにならないか懸念がある。	にぎわい施設は100%民間の施設となりますが、その周辺は市も整備に関わります。イベント等については地元との連携も市としても求めていく内容になるので、そこは調整できる内容になると思います。
4	マーケットゾーンから離れた北側遊び場も特定公園施設としての管理出来るのか。	難しいという意見も一部事業者からは出ていますが、市としては、なるべく民間に広い範囲を特定公園施設としてお願いしたいと考えています。指定管理については現時点では全体をまとめてお願いすることを希望しています。公募前には、事業者の意見をあらためて聞いたうえで最終決定していきたいと考えています。
5	にぎわい施設の部分については、キッズスペースとして、柔らかい舗装なども取り入れてほしい。	事業者に対しては、公募時に市として絶対やってもらいたいことと、出来ればやって欲しいことを示して事業計画を考えてもらいます。市としては、この公園はまず子育て世代が遊べる場所が市内に少ないというところから始まっている話なのでそこはしっかり検討したいと思っています。今後、事業者との協議においてもそれぞれのご意見の実現性を検討しながら住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
6	「健康」運動公園として温浴施設があれば喜ばれると思う。	
(馬とのふれあいゾーン)		
7	ふれあい牧場について、小動物がいたり、ポニーがいたりするイメージか？触れ合う場所があるのはいいと思うが、どういう内容か。	ふれあい牧場については、馬事業者の中に馬施設部分は乗馬クラブを希望している事業者がいる中で、一般の方に触れ合いを持ってもらうスペースとして設置をイメージしています。引退競走馬やポニー等がいるイメージです。
8	基本設計の変更図は今後提示があり、まだ修正可能という理解でよい。賑わい施設に厩舎が近いと匂うため、厩舎と屋外馬場が逆の方が良いと意見させてもらったが絵が変わっていない。	計画図の配置はあくまでイメージです。現段階では去年から絵を変えていませんが、ご意見を無視しているというわけではなく、現在修正中であり、今時点ではまだ昨年度の絵しかないという理解をいただければと思います。今年度基本設計は終わり、計画図は少し修正しますが、事業者が決まれば、実際の配置は更に変わるとも思っています。
(自然環境保全体験ゾーン)		
9	自然環境保全体験ゾーンが面白くない。お金取られてもよいから、タケノコ掘りができたら楽しいと思う。栗東自然観察の森はどんぐりも採取禁止となっている。	竹林については、国際情報高校側は枯れており、また竹というのは、だんだん範囲を広げて繁茂していくので、今の段階では、竹はすべて伐採し、代わりに植樹をしたいと考えています。現況の針葉樹広葉樹林も竹が増えてくるとイメージしている森林浴のようなことが出来なります。竹を伐採して植樹することになれば苗木を開園前に希望してもらう市民の方に育ててもらえる等の取り組みを検討していきたいと考えています。どんぐり等の採取については落ちていたものを持ち帰ってもらうことは構いませんが、営利目的や大量の採取、木になっている実の採取等はやめていただくようお願いいたします。
10	杉とか高木は10メートルを超えると、管理できなくなる。桜でも何でもよいがあまり大きくなるものはよくない。先を見た樹木の選定をお願いしたい。私は栗山東学区でもタケノコ掘りの活動をしていたが、掘るときはいいが、普段の管理ができない。	

(その他)		
11	ため池は全国的に事故が多い。その辺も踏まえ残すのかよく検討してほしい。森林率も確保する必要がある中で、ため池を半分なり、全部なり埋めた方がよい。RDの土地についても利用を検討できないか。	ため池については、皆様の意見は十分理解しています。必ず年度内には方針を出して、説明します。RDについては、時期の問題もありますがしっかり調整してまいります。
12	三ツ池の方や、迷路の部分の活用の話も前にあったが、範囲を確認したい。	三ツ池側の緑地は残置森林として残します。迷路用地もしっかりした答えはもう少しかかるが、年度内には方針出します。
13	迷路用地に周辺を見ると物流が来る可能性が高い。市の考えに沿ったものとして考えてほしい。私は地権者を知っているが、市に協力すると言っている。市として、しっかり考えてほしい。	県も将来交通量予測等させておりますが、公開になっていません。市としては現状の交通量調査を実施したところです。今度バイパスが開通し、交通量が変われば、改めて調査し、対応を検討したいと考えています。もう少しお時間を頂きたいと思います。
14	北側に物流、火葬場ができる関係で、55号線に右折レーンを作してほしいと要望していて、県南部からは市が費用を出すならオッケーと言われている。渋滞なども考えると、右折専用レーンが必要と思っているので、ぜひ検討してほしい。	
15	公園内は徒歩か？園内は自転車を通れるのか？	公園で遊ぶ子どもの安全性に配慮し、自転車は通らせない考えです。一方、以前地元から自転車の練習場の要望があったことも踏まえ、現在、緊急ヘリポートの設置を検討しており、平常時は自転車練習場にできないかと考えているところです。
16	経堂池にボートを浮かべるような構想はあるか？	経堂池は、バイパスの反対側からの水を受けており、雨が降った際には上流の水が入ってくるので、水路としての機能は残す必要がありますが、農業用ため池としてはもう使わないと聞いていますので、池についてはこれまでからの意見を受けて広場を広げて活用することを検討しています。
17	RD用地を使わないという設定で、こういう設計をされたのか？	RD用地の活用とセットとしての検討はしておりません。
18	RDの活用ができれば、そちら側に森林を持っていくなどして、もっと余裕がある設計ができる。設計は、来年で決定か？	最終的な設計は、公営事業者が決まってから決まります。都市計画法で公園の区域は決まっており、森林は区域内に元々あったものを保存する必要があるので、RD側では確保出来るというものではありません。
19	ヘリポートは音が大きい。場所は住宅地からできるだけ離れた方がよい。	ヘリポートについては緊急用であり常に離発着がある訳ではないので、場外着陸場の整理ができれば、ドクターヘリの離発着も可能になり地域の皆さんにもメリットがあると考えています。今後さらに検討を進めてまいります。
20	栗東駅、草津駅からシャトルバス等があると利用しやすく、利用が増えると思う。	アクセスのしやすさという点については検討課題として認識しているところです。アクセス性の向上の対策については今後も調査、研究していきたいと考えています。

第5回栗東健康運動公園整備懇談会（令和7年3月18日開催）

13

意見シート集約及び意見回答一覧

NO	意見	回答
(芝生広場について)		
1	令和11年の先行開園は、北側の調整池と芝生広場のエリアだと思う。北側の芝生広場は何か遊具を置か、それとも広場としておくのか？	北側広場は、例えば、市民参画の1つの方法としてボランティアサークルなどを作って、そこ議論しながら作っていきけるスペースとしたいと考えている。14年でいったん公園は完成するが、その後もより良い公園になる様にしていきたい。
2	公園の遊具については、具体的に検討できる時期がくればどのような遊具がよいのか写真をつかったアンケートなどをやってもらえればと思う。	大きな方向はこういう場で意見を頂いて、遊具にも流行りがあるので、詳細は整備が近づいた時点でまたアンケート等の意見聴取を考える。
3	広場にどのようなものを置きましょうということについて、まだ話ができていないように思うが、その辺も議論する場があるということでしょうか？	大きな話としてイメージの議論というのはさせていただきたい。賑わい事業者の工事の中で遊具の設置を考えており、11年の施設設計のところで具体的に事業者を交えて検討することになる。小学校、PTA、こども会などの意見の取り入れ方も今後検討する。地元の声として、懇談会の中で議論していきたい。
(進入路について)		
4	車で公園に右折で入る場合、どうするのか？渋滞が心配。	イベントなどの時は誘導員などを配置するが、平常時は気を付けて入ってもらうことになる。
5	公園の反対側の用地も使って立体交差で入れるようにしたら良いと思うが。	立体交差の進入路を作る計画はない。現在バイパスの側道は国の管理だが、将来市道になるので、誘導についてももしっかり対応していきたい。
(造成工事の期間について)		
6	盛土の安定処理とか調整池の構造変更に大きなお金がかかるが、これに係る工事期間はどのくらいかかるのか？	資料4の造成工事の期間4年間がかかる。工事の実作業もあるが、金銭的にも重たい工事になってくるため、予算の平準化の面からも4年間かけて実施することとしたもの。
7	場合によっては伸びたりすることもあるのか？	開園時期を動かさないようにしたいと考えているが、国の予算というのも要望通りつくわけではなく、天候の影響も受ける可能性はあるので、確実な約束はできない状況。
(その他)		
8	元々、にぎわいゾーン、馬施設ゾーン、自然環境保全ゾーンとしていたが、本日の資料では、にぎわい、馬施設、その他公園施設となっている。何か意図はあるか聞きたい。	工事工程を示すためにそのように資料は纏めているが、ゾーンの考え方は変わっていない。
9	資料の3-2に使用料、寄付について書かれているが、今後物価が上がっていく中でクラウドファンディングについても市の方で考えてもらえたらと思う。	市もクラウドファンディング等の仕組みを作りたいと考えており、来年度先進地の視察に行く予定。
10	火葬場とか隣地の民間企業の工事と照らし合わせて見れる図面を頂けたらありがたい。重なるところがあると思うので、それ辺を知りたい。	来年度実施設計で再来年度工事発注となっていくので、業者が決まらないうちから難しいと思う。火葬場の工事はR9年度末なので、健康運動公園の工事と2年くらいは重なる可能性がある。調整の上、皆さんにも連絡させて頂きたいと考えている。隣地の民間企業についても同様である。もちろん我々の工事が明確になってきた段階で、調整しながら皆様にご提示したいと考えている。来年度は造成の詳細設計を行うので、工事着手すると言うことはしないが、近隣の皆様に迷惑が掛からない様、情報の発信をしていく必要があると考えている。
11	隣地の民間企業の開発の時から小野南交差点の右折だまりの話はあった。県が、用地買収の話もあるのでとして、そのままになっている。倉庫を作るときにちゃんとしてもらわなければいけないので、市からも押してもらえればと思う。	県とも協議はしている。バイパス開通後の状況をみて検討したい。
12	地元としては、道路の問題はしっかり対応していただきたい。	2月の栗東学区自治会との会議では市長、副市長出席の中、この交差点の件は栗東市として問題と捉えているので、バイパスの開通後の状況も踏まえ、県とも話し合いながら進めていきたい。
13	公園の中に防災関係の施設は入っているのか？	今年度、市の地域防災計画が改訂になり、地域防災拠点として健康運動公園を位置づけさせてもらう。隣の国際情報高校が避難所になっているので、広域から物資を受け取る拠点となる。緊急時のみになるかも知れないが、ヘリポートも設置予定。ここに物資を一定貯蓄して、それを各避難所の方に、まけるような機能を持たせたいと考えている。また、災害時にボランティアの方なども使用できるトイレやかまどベンチなども整備する予定になっている。
14	公園正面(西側)出入口から北側出入口への通路は基本車両の進入が出来ない通路として欲しい。	最終的なレイアウトによりませんが、緊急時を除き、園内の園路は一般の車両は通れない運用とする予定です。
15	経堂池は水深を浅くし、親水施設として活用できないか。出来ない場合は安全対策をお願いしたい。	経堂池の取り扱いについては令和7年度の詳細設計の中で検討します。 なお、現時点では水遊び場は別途設けたいと考えています。(計画平面図にぎわい施設東側)

第6回栗東健康運動公園整備懇談会（令和7年8月19日開催）

意見シート集約及び意見回答一覧

14

NO	意見	回答
(公園内について)		
1	市民の健康運動公園ではないのか？また、栗東市にはプールがないので大きいプールを作ってほしいという地元の声もある。	市民の皆様から市内に大きい芝生広場がないという声もいただいております。芝生広場を2.7haに広げさせていただきます。官民連携を含め、市民の皆様にご覧いただき利用していただけるように整備を進めたいと考えています。
2	県道を挟んで少し残っている敷地は何か活用するのか？	現在の考え方としては、残置森林の一部として維持管理をしていく予定です。
3	真夏に子どもが水遊び場で遊んでいる時に見守っている親は暑すぎるので対応を考えていただきたい。	水遊び場の周辺の日陰の取り方などの対策は検討していきます。
4	ふれあい牧場とドックランが隣接しているが、犬が吠えたときに馬がびっくりして跳ねたりしないか？	馬事業者にもこの配置には指摘を受けているため、配置変更も検討します。
5	傾斜を残したままの造成を考えているなら、傾斜を活かした遊具(超幅広滑り台、落差を活かした水遊び場等)を設置してはどうでしょうか？また、水遊び場の近くの木陰にBBQエリアがあれば、夏休みの平日も賑わうのではないかな？	傾斜を残すか否かについては、今年度のMS調査を踏まえ判断する予定です。公園施設内の事業者に対しては、公募時に市として絶対やってもらいたいこと、出来ればやって欲しいことを示して事業計画を考えてもらいます。事業者決定後に協議を行い、それぞれのご意見の実現性を検討しながら住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
(駐車場について)		
6	駐車場の管理方法について、管理責任者は市なのか？民間なのか？	通常時の管理は駐車場も含めて指定管理事業者を予定していますが、市の施設であるため、最終的には市が責任を持って対応します。
7	駐車場の無料開放(自由に入出できる状況)は、キャンプカーの常駐利用や、暴走車のたまり場となり治安が悪くなるので避けていただきたい。	駐車場の無料開放については検討中であり、民間事業者との協議を踏まえ判断していきたいと考えています。また、馬関係の事業者やPark-PFI事業者によると、公園の中に施設を設けた場合24時間開けておくのは管理上難しいという意見があり、夜間は締め切る形になると、駐車場も夜間は締め切る事になると思います。
(来場者について)		
8	来場者や乗馬等をされる方が来るのは春と秋がメインだと思うが暑い季節の夏や寒い季節の冬はどうしていくのか？	水遊び場や、日陰のとり方などを工夫すること等で真夏の暑い日でも利用してもらえるよう検討していきます。また、有馬馬の誘致することができれば季節関係なく興味がある方は来園されるかと考えています。
9	栗東健康運動公園の来場者数の見込みはどれくらいで考えているのか？	来場者数について、立地や特徴を反映できる計算式はなく、面積に応じて来場者数が増えるものとなりますが41万人と試算しています。
10	41万人の来場者数に対して、馬30頭は少なく感じ、馬と触れ合っていない来場者の方は他に何をすればいいのか？また、馬以外の魅力は何かあるのか？	にぎわい施設になると思います。馬以外の魅力に関しては、公募条件で選定された事業者のアイデアやノウハウに期待しており、その内容を市民の方々と共有しながらより良い公園を作っていきたいと考えています。
(その他)		
11	平成31年1月に開催された栗東健康運動公園整備検討懇談会について、当時公園事業の推進の要望を出していたにもかかわらず、地元では開催された事を聞いていないので教えていただきたい。	栗東健康運動公園整備検討懇談会は平成31年の1月から3月の間に2回ほど開催させていただき、事業について立ち上げ段階での話をさせていただきました。メンバーは学識経験者や福祉関係、農業委員会、教育関係、教育委員、商工会、栗山東小学校PTA会長、栗山幼稚園保護者会長、栗山東学区自治連合会長等です。
12	栗東ホースパークという名前はもう決定なのか？	都市計画の正式名称としては栗東健康運動公園ですが、官民連携を行うにあたり馬のまち栗東として親しみやすさも込めて栗東ホースパークという名称も存在し、2つの名称を使っています。
13	馬産業全体でも人材不足なので、リトレーニングできる人も減ってきている。なので馬事業に対する人材育成をすることや、馬を通して青少年の心身の発育に貢献していくことも含めて、馬を使った人材育成を名目に入れたらどうか？	人材育成についてもコンセプトとして持っており、JRAからのその観点は期待していただいているところですが、リトレーニングについては赤字事業と聞いておりますが、意義深い取り組みであるため、市としてサポートをしていけるかを検討しています。また、そういう体制をしっかりとった上で募集の際に必須とするかどうかを検討していきたいと考えています。
14	引退競走馬を受け入れるのは30頭以上増えないのか？	事業者が乗馬クラブをして、黒字経営をするには30頭程度必要と言われております。全体事業費にも30馬房程度を見込んでおりますので事業者の事業概要によって頭数が減ることはあっても、受け入れ頭数がこれ以上増えることはないと考えています。
15	例えばキッチンカー等を入れて大勢の来場者が来た時に、音に敏感な馬は大丈夫なのか？	馬の音への対応については、馬の施設が出来た所を実際に事業者の方に見ていただきましたが、国際情報高校の吹奏楽部が演奏していてもこれぐらいの音なら大丈夫と言う意見を聞いていますので、通常の騒音程度だったら基本的には大丈夫だと考えています。
16	皆さんに周知してほしいという話だが、私たちが地元の自治会長に話をしたいのか？それとも、市民向けに話をしたいのか？それとも、市民向けに話をしたいのか？市民向けにしっかりと情報発信・説明をしてほしい。	機会があれば説明に行かせていただきたいと考えています。また、今年の7月の広報りっとうに見開きで栗東ホースパークの情報発信をさせていただきます。今後も色んな形で情報発信もさせていただきますと考えています。
17	広報りっとうに載せるより、回覧用で回してくれた方が見る方多いと思う。	意見を参考に、今後検討していきます。